

発 刊 に 寄 せ て

21世紀の最初の10年が終わり、次の10年へと向かう今日、少子高齢化、経済社会の国際化と競争の激化、地球規模の環境問題、高度情報通信社会の進展等、社会はこれまでにない大きな岐路に立っています。

教育分野においても、確かな学力の育成はもとより、いじめや不登校の増加、学ぶ意欲や規範意識の低下、人間関係の希薄化への対応や、食生活に主体的に関わろうとする自立した生活者を育む食育、望ましい勤労観や、職業観を育むキャリア教育等、新たな課題も浮かび上がってきました。

このような中、本県では、国における教育振興基本計画の策定を受けて、県総合計画「富国有徳の理想郷“ふじのくに”づくり」の教育関連分野を踏まえ、教育計画「『人づくり』2010プラン」の次期計画として、平成23年度から平成32年度までの10年間を計画期間とする「静岡県教育振興基本計画」を策定しました。また、同計画に基づいて、新しい「静岡県教職員研修指針」を策定しました。

本センターにおいては、研究・研修・指導（訪問）の各業務のつながりを大切にするとともに、指導の系統性、連続性を重視して、学校への支援を進めてまいりました。

3つの業務のうち、研究は、研修や指導の基盤となるものです。研究は、センターで行う研修及び学校を訪問して行う指導の内容に直結する重要な役割を担っており、研究の質が研修や指導の質に連動するという意味で、センター業務の根幹です。したがって、各種の教育課題について研究を進め、指導の具体的な内容・方法等に係る先導的研究を進め、学校や教職員を支援することがセンターの使命と考えております。

昨年度から、研究のほかに、実践報告等を掲載し、本センターにおける取組とその成果を広くお伝えしております。

御一読の上、是非忌憚のない御意見・御感想をお寄せいただければ幸いです。

結びに、研究に際して、御協力をいただきました学校及び関係教育機関の方々にお礼申し上げます。

平成23年3月

静岡県総合教育センター
所 長 三ッ谷 三善